

議案第1号  
平成27年度一般会計予算  
に対する主な質疑・討論

**Q** 道路区画線設置工事請負費予算は、区長申請以外も予算計上されるのか。

**A** 交通安全対策上、道路管理者の管理する箇所は計画に含んでいる。

**Q** 補助金交付事業、特に土地改良区に対し、繰越金に着目し予算措置を講じているのか。

**A** 交付団体によっては、繰り越されているが減額することはしていない。

土地改良区については毎年見直し交付している。

**Q** 狭あい道路整備事業は時限立法だが、今後の見通しは。

**A** 27年度も予算計上し事業予定している。今後の予定は現時点では未定だが、生活道路や通学路を優先し取り組んでいきたい。

**Q** 金魚はともだち事業の具体的内容は。

**A** 夏休みを利用し市内商業施設での金魚すくいを開

催しPR活動やきんちゃんグッズの販売を行うこと、現在も実施している小学生の親子を対象に金魚の学校（金魚組合と愛知県水産試験所の主催する金魚の成長段階を学習する事業）に対する支援体制の強化である。

**Q** 県が発表した防災シミュレーションを尊重し実際に避難場所として活用できる施設、建物を明らかにすべきでは。

**A** 想定する巨大地震による津波と液状化に対応した一時避難場所について3.5メートルの津波を想定し多数の避難者の受け入れが可能である学校等公共施設の整備を進めていく。

**Q** 避難マップ等で避難場所の周知が重要であることは認識しているが避難経路についてはどうか。

**A** 地元の防災会等と協議して進めていきたい。

**Q** 避難場所は市内だけでなく市外も想定すべきでは。

**A** 海部地域で総合的な災害協定を結んでいる。他の

市への避難も考えていかなければいけない。

**Q** 当直業務の委託について、警備会社や警備員に対する情報管理や守秘義務の配慮はなされているのか。

**A** 10月以降の委託を想定し現在、契約内容を精査し守秘義務等を十分配慮した内容にする。

**Q** 当直業務の委託先にシルバー人材センターを検討しているようだが、労働基準法上問題ないのか。

**A** 本市のシルバー人材センターにとつて有意義という観点から検討をしている。

一方、警備法によりシルバー人材センターには向かない業務があることは承知しており、勤務時間・委託内容を精査している段階で、シルバー人材センターが不可能な場合、警備会社に委託することも想定し予算計上している。

**Q** 防犯灯の全灯LED化のスケジュールと方針は。

**A** 27年度前半で調査した後

半より地区単位で順次施工していく予定。契約はリース方式とし契約期間10年間とし契約期間終了後無償移管を採用する。

**Q** 生活困窮者自立支援事業は、本来生活保護が受けられる者を受けないようにする趣旨のものか。

**A** 生活保護に至る前まで困窮している者を対象とした事業である。

**Q** マイナバー制度への移行スケジュールは。

**A** 27年7月頃広報等で周知、10月より全住民に通知カードと個人番号カードの申請書が地方公共団体情報システム機構から送付され、その後、個人番号カードの交付を希望する場合、機構へ申し込むという手順で、28年1月より個人番号カード交付が始まる。

【反対討論(三議員)】

一般会計予算に対しては、大幅な改善の余地があるととして、また、国民健康保険特別会計予算に対しては、一般会計から国保の繰入金を減らしておきながら、国保の徴収額は値下げしないのは、市の負担は減らすのが住民負担は減らさないということから賛同できない。

さらに、後期高齢者医療特別会計についても住民負担とならないよう要望するため賛同できない。との反対討論がありました。

【賛成討論(平野議員)】

一般会計予算は、前年度対比1.0%減の予算が計上され、その内訳は、財政調整基金の取り崩しを3千890万円に抑え、市債発行額も4億円弱減らし10億円と健全な予算案であると言える。タイムリーな新事業を予算計上している点は評価できることから賛成とする。

反対  
VS  
賛成  
討論

※採決は、5頁の「議案等の賛否状況一覧」をご覧ください。